

# 月例金曜講話のご案内

「世界がぜんたい

幸福にならないうちは

個人の幸福はありえない」

これは東北の自然を愛し、法華経を心のよりどころとした詩人・宮澤賢治の言葉です。

生きとし生けるものすべてが輝くように、私たちはあらゆる“いのち”を敬い大切にしたい。そんな社会を明るくする合言葉が「いのちに合掌」です。講話を通して豊かな心を育て、幸せな社会を一緒につくっていきましょう。

どうぞ皆さま、ご家族、お知り合いの方をお誘い合わせの上、ご来場下さい。



# 日蓮宗

立正安国・お題目結縁運動  
いのちに合掌



## ホームページのご紹介

月例金曜講話の様子は、下記の日蓮宗ポータルサイトでも、動画でご覧になれます。また、iPod等の携帯音楽プレイヤーで手軽に「日蓮宗の教え」に触れて頂けるよう、講話を「ポッドキャスト」でも配信しております。

### 日蓮宗ポータルサイト

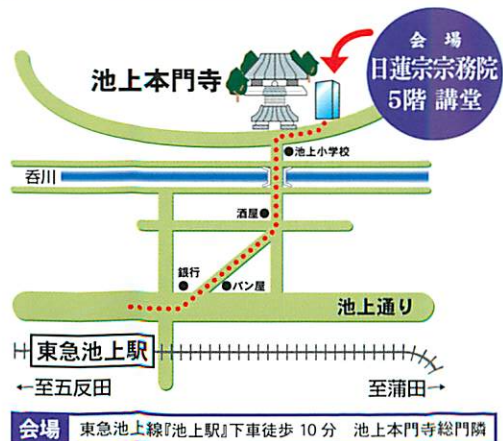
<http://www.nichiren.or.jp>

月例金曜講話(動画)

<トップページ→法話→月例金曜講話>

日蓮宗ポッドキャスト(音声)

<トップページ→法話→日蓮宗ポッドキャスト>



入場無料  
お気軽にお越しください

お問い合わせ先

日蓮宗宗務院 伝道部  
TEL.03-3755-5105

日蓮宗の月例金曜講話

平成24年度テーマ

# いのちに合掌

## 入場無料

4/6(金)

林風舎  
代表取締役  
宮澤 和樹 氏

5/11(金)

日蓮宗開教師  
大輝佛教貫土寺主任  
禹 法顯 師

6/1(金)

日蓮宗常任布教師  
山口興妙蓮寺住職  
吉本 光良 師

7/6(金)

大阪府華光寺別院  
副住職  
瀧本 光静 師

8/3(金)

立正大学非常勤講師  
慶應義塾大学非常勤講師  
正木 晃 氏

9/7(金)

ボランティアグループマイトレーマ  
山梨県永照寺住職  
吉田 永正 師

10/5(金)

大阪府寶泉寺住職  
村尾 泰孝 師

11/2(金)

福元ハンドタイム7ツツギ代表  
静岡県本妙寺住職  
柏孝 孝鏡 師

12/7(金)

日蓮宗理代堂教研究所 所長  
広島県妙長寺住職  
三原 正資 師

2/1(金)

落語家  
金原亭 馬吉 氏



# 日蓮宗の月例金曜講話

平成24年度テーマ

がっしょう

## “いのちに合掌”

講話日程 入場無料

平成24年4月～平成25年2月の毎月第1金曜日

(1月はお休み、5月のみ第2金曜日)

午後1時～3時30分

●午後1時～2時 信行会

●2時～3時30分 講話

※変更する場合もございますので、事前にお問い合わせ下さい。

4/6(金)

祖父清六から聞いた宮澤賢治



林風会  
代表取締役

宮澤 和樹 (みやざわ かずき)

宮澤賢治の実弟、祖父清六から聞いた「雨ニモマケズ…」手帳の事。「銀河鉄道の夜」や「注文の多い料理店」の事。その様なお話を皆さまにしたいと考えています。

5/11(金)

なぜ法華経なのか、  
なぜ御題目なのか



日蓮宗開教師  
大韓佛教賢土寺主任

禹 法顯 (う ほっけん)

ある修行者が畑の横を歩いていた。畑を耕していた農民は修行者を見て合掌をした。その功徳によって農民は魔界の王として生まれ変わったのです。寿量品の中に「一心欲見仏不自惜身命」とあり、仏さまは只一心に合掌するだけで喜び、我々を見守ってくださるのです。

6/1(金)

貴方も、きっと仏に成れます



日蓮宗常任布教師  
山口県妙蓮寺住職

吉本 光良 (よしもと こうりょう)

人は姿や形は違っても(平等大慧)、共に生かし合う道に生きれば(教菩薩法)、仏に護って頂けます(仏処護念)。これが、法華経のメッセージです。「貴方も、きっと仏に成れます」

7/6(金)

しあわせを教える技術



大阪府華光寺別院  
副住職

瀧本 光静 (たきもと こうせい)

あらゆる時間の短縮化に向けて進化し続ける時代。伴って言葉やふれあいも短縮化する今、すでに孤独死という不安を未来に抱く若者たちに改めて感謝の底力を伝えたいのです。

8/3(金)

宮澤賢治はなぜ浄土真宗から  
法華経信仰へ改宗したのか



立正大学非常勤講師  
慶應義塾大学非常勤講師

正木 晃 (まさき あきら)

宮澤賢治は浄土真宗を熱心に信仰する家に生まれたにもかかわらず、みずからの信仰として法華経を選んだ。それはなぜだったのか。大乗菩薩道やアニミズムなどをキーワードに、その謎を解き明かす。

9/7(金)

仏の慈悲の心で  
救援活動を



ボランティアグループマイトレーヤ代表  
山梨県永照寺住職

吉田 永正 (よしだ えいしょう)

“支えあって生きる”は生きとし生けるものの鉄則であり、人間社会を明るくする源。仏の慈悲の心で直接顔のみえる救援活動は、ともに心が暖かく和んできます。

10/5(金)

お釈迦さまの  
いいなかったこと



大阪府寶泉寺住職

村尾 泰孝 (むらおたいこう)

お釈迦さまは、私たちに何を伝えようとなされたのでしょうか？  
「爾時世尊、從三昧安詳而起。告舍利弗……」  
舍利弗に告げられたお言葉を私たちに語られたお言葉として、お経を拝読しましょう。

11/2(金)

「仏教讃歌」  
～ハンドチャイムでの布教～



和風天人ハンドチャイムアンサンブル代表  
静岡県本妙寺住職

柏酒 孝鏡 (かしわぎ こうきょう)

仏教讃歌は、明治の終わりに誕生し、布教活動として歩み始め、大切な役割を果たしています。私たちは、平成20年、CD「蓮の花」、さらに本年8月に第2弾CD「いのち」を発売。チャイムの癒しの音色をお聴き下さい。

12/7(金)

「水や光や風ぜんたいがわたくしなのだ」  
～21世紀をはばたく宮澤賢治～



日蓮宗現代宗教研習所 所長  
広島県妙妙寺住職

三原 正資 (みはら しょうじ)

科学者、教師、詩人、童話作家、ボランティア、そしてサラリーマン。賢治の歩んだ豊かな人生は法華経との出会いから始まった。

2/1(金) <sup>平成25年</sup>

古典落語の笑いと温もり



落語家

金原亭 馬吉 (きんげんてい うまきち)

落語でお馴染みの八つっあんに熊さん、横丁のご隠居さん…。個性的でありながら、和の中でそれぞれに居場所があり輝いておられます。よりよく生きるヒントが見つかるかもしれません。

※講師の眞書きは平成24年3月現在のものです。